

第12回おおた研究・開発フェア

会 場：コンgresクエア羽田

開催日：2022年10月20日(木)～10月21日(金)

Web展示：2022年10月20日(木)～12月31日(土)

おおた研究・開発フェアは、国内外の大学・研究開発機関・企業による先端技術シーズが集結する「東京都大田区」の展示会です。本学からは、航空宇宙技術開発センター及びセンターの主要な技術についての紹介を行いました。

『センシングとモーションコントロールに関する研究』

工学部 教授 伊藤 和晃

生産年齢人口が急速に減少する中で高度ものづくり社会を持続するには生産性向上が不可欠です。製造組立装置やロボットなどメカトロニクス機器の性能を着実にかつ継続して向上させていく必要があります。研究室では、メカトロニクス機器の位置決めや力制御性能向上に必要なモーションコントロール技術、触覚センサ・画像認識等のセンシング技術、人工知能のメカトロ応用に関する研究開発に取り組んでいます。

・『熟練者の力加減を再現可能なロボット開発』

工学部 教授 伊藤 和晃

…イノベーションジャパンの頁をご覧ください。

・『ロボットの性能向上を目的としたモータ開発』

高等研究院 特任助教 八田 禎之

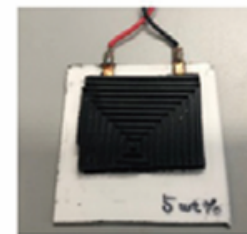
…イノベーションジャパンの頁をご覧ください。

バイラテラル制御による匠の技術の可視化システム

・ロボット間のバイラテラル制御により人の動きや力加減をデータ化し、自動化や技術伝承に活用



CMCを用いた触覚センサに関する研究



・岐大発のナノテク材料
(カーボンマイクロコイル)
・ロボット用の触覚センサや
近接センサとしての応用